

平成 21 年 3 月 10 日

4 規格の IC カードが読取できるマルチ IC カードターミナル SMRT-43 を 3 月から販売開始。  
液晶ディスプレイと IC カードリーダを一体化し、小型化を実現。

自動認識システム開発のアイニックス株式会社（東京都目黒区大橋 1-6-2 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也）は、RFID 機器製造のマイクロテクノ株式会社（川崎市中原区下小田中 2-33-36 代表取締役 佐藤 薫）と代理店契約を締結し、4 規格の IC カードが読み取りできるマルチ IC カードターミナル SMRT-43 を 3 月から販売を開始しました。

IC カードは、ISO14443 タイプ A (Mifare)、タイプ B (運転免許証等)、タイプ C (FeliCa)、および ISO15693 (I-Code SLI 等) の 4 種類の規格があり、従来、それぞれの IC カードリーダを使用していました。したがって、複数のカードを使用する場合、複数のリーダを設置する必要があり、設置コストや設置スペースが問題となっていました。マルチ IC カードターミナル SMRT-43 は、これらのカードを 1 台のターミナルで読取できますので、将来、別のカードに変更しても、あるいは、複数のカードを使用することになっても継続的に使用できます。

また、従来の IC カードターミナルは、リーダ部と液晶表示部が別になっていましたので、サイズを小さくすることができませんでした。しかし、マルチ IC カードターミナル SMRT-43 は、リーダ部と表示部を一体化しましたので、小型化を実現しました。更に、タッチパネル付カラー液晶ディスプレイを搭載したことにより、IC カード入力のほかに、タッチキー入力も可能になりました。

マルチ IC カードリーダ SMRT-43 は、イーサネット LAN を標準装備していますので、既存のネットワークに簡単に接続することができます。また、USB ポートも装備していますので、パソコンに簡単に接続できるばかりでなく、バーコードリーダや指紋認証などの周辺機器を接続することができます。また、音声機能としてマイクロフォンとスピーカも内蔵しています。

マルチ IC カードリーダ SMRT-43 は、リナックス (Linux) のオープン OS を搭載しています。したがって、Windows を搭載した製品に比べ安価に提供でき、また、開発ソフトウェアも安価に提供できます。マルチ IC カードリーダ SMRT-43 は、オープン価格ですが、サンプル価格は約 10 万円です。そして、初年度、機器販売のみで 3,000 万円の販売を見込んでいます。



コンパクトサイズを実現



4 規格の IC カードを読取



タッチパネル付カラー液晶画面